

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(1/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	4.9	5.0  進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高 105%	4.5  規制の特例等 ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設 等  財政支援等 ・総合特区推進調整費  ・総合特区設備等投資促進税制 等  地域独自の取組 ・福岡県北部九州自動車産業アジア先進拠点推進事業 等	5.0	<p>・目標に向かって、「規制の特例措置」、「財政・税制・金融支援の活用」を上手に組み込み成果をあげており、今後の発展が期待できる。</p> <p>・水エネルギー事業、国際環境ビジネス等についての幅広い取組を進める中で、既存事業の活用を含めて政策の進捗につながっていることが高く評価される。</p> <p>・例年通り、優秀な取組状況である。雇用効果など明確な結果を出している。全体的に効果現出が減速気味な雰囲気だが、これをどう持続させるかが課題であろう。</p>